

地球環境の限界 (プラネタリー・バウンダリー)



環境まちづくり

Vol.26



会長 木内 勝司

「地球環境の限界（プラネ

タリー・バウンダリー）」とは、

「その限界内であれば、人類

は将来世代に向けて発展と繁

栄を続けられるが、限界を越

えると、急激な、あるいは取

り返しのつかない環境変化が

生じる可能性がある」境界の

ことで、二酸化炭素の排出に

よる気候変動のほか、地球環

境に影響を与える様々な事象

があります。海洋の酸性化、

成層圏のオゾンの破壊、窒素

とリンの循環、世界的な淡水

利用、土地利用の変化、生物

多様性の損失、大気エアロゾ

ルの負荷、化学物質による汚

染という、気候変動を含めた

9つの境界のことで、相互に

関連しています。

この限界点を知ること

で、地球環境に壊滅的な変化が起

こることを回避できるという

研究(ヨハン・ロックスストロー

ム／2015コスモス国際賞

受賞)によれば、人類の「持続

的発展」は可能であり、この

ことを言い換えれば、「身近

な環境の保全活動を続けてい

けば、私たちの生活を原始生

活に戻すということとはしなく

ても、快適な生活を続けてい

くことができる」ということ

ですから、孫子の代につけを

回さないように、環境保全活

動に心して取り組みましょう。

1000回を迎えた ごみひろい隊



「街をきれいにしよう！」

の掛けでごみひろい隊が発足

したのは2005年11月。当

時発足したばかりのごみ部会

で「議論ばかりで進展がない、

具体的に体を動かしてみたら

という提案があり、早速「第

1回ごみひろい隊」を行うこ

とになりました。集まったの

は8人、トングとごみ袋を持

参して、市役所から入間市駅

まで、帰りはアポポ商店街を

通り市役所までの約2時間、
約2kmのコースを実施しました。

第2回からはごみの量の

計測を行い、タバコの吸い

殻もカウントすることにな

りました。武蔵藤沢駅を中

心にした藤沢コースも第9

回(2006年7月)より行

い、隔月毎に入間市駅周辺と

武蔵藤沢駅周辺のごみひろい

を続け、2015年5月には

1000回目を数えることにな

りました。メンバーも年々増

加し現在の登録は55名、「ご

みひろい隊は清掃活動ではな

く、啓発活動である」との趣

旨から、活動の際にはよく目

立つ環境まちづくり会議のピ

ンク色のユニフォームを着用

しています。

現在までに参加した延べ人

数は2350名、集めたごみ

の量は1607kg、「無理せ

ず」「焦らず」をモットーと

して今後も続けていく予定で

す。入間市が少しでもきれい

になることを願って。

(本多進記)

いるま 環境フェア



いるま環境フェアも平成28年度は第5回を迎えようとしています。これまで実行委員会は、環境に対して市民のみなさんが楽しみながら理解をすすめる、学び、そしてより良い環境のための実践をする機会となるよう、課題を少しずつクリアしながら、参加団体の協力のもと環境フェアを実施してまいりました。

28年度は、市制施行50周年とも重なり、より充実した「環境フェア」となるよう準備を進めているところです。特に、児

童やその保護者が気軽に環境について学べるような企画をたくさん用意しています。



環境を一つのテーマに市民が中心となってまとめたイベントとして運営していることは、簡単なことではありません。「環境」というテーマが扱う分野の広さがその一因となっているように思われます。また、それを市民に分かりやすく、し



展示コーナー

かも興味を持ってもらうように伝えていくことはもう一つの課題と言えるでしょう。

そこで、「環境フェア」では①産業文化センターホールを使って、講演やコンサートなど、見て楽しくためになるもの、②環境に関する活動をしている市民団体や企業から説明が受けられる展示、③面白い実験や身近な材料で楽しく遊べる体験コーナー、④食を通して環境について考える機会を作る模擬店、⑤彩の森



生物観察ツアー

入間公園での生物観察ツアー、⑥環境川柳など多くの企画をしてまいりました。



環境問題を真剣に考え改善していく為には、小さな努力の積み重ねも大切なことです。まずは、環境フェアでその一歩を楽しく始めてみてはいかがでしょうか。入間市の環境フェアは『いるま』から発信！私が取り組む環境のカタチ』を第1回からの継続したテーマにしています。

私たち人間は、自然からあらゆる生きていくための恩恵を得ています。自然を大切に、自然と共に生きていくためには、どんなことをしていけばいいのでしょうか。「いるま環境フェア」がそのきっかけとなっていけば

いいですね。
今年**6月19日(日)**に開催が決まりました。どうぞふるって参加ください。
(川名千鶴子記)

【お問い合わせ】
いるま環境フェア
実行委員会事務局
(入間市環境課)
☎ 04-2964-1111
(内線 3226)

『市制施行50周年記念』
第5回いるま環境フェア
平成28年6月19日(日)
10時～16時
会場 産業文化センター

環境 ウォーキング

爽やかな秋空がひろがった11月21日（土）、加治丘陵コースの参加者は午前9時に旧国民宿舎「入間グリーンロッジ」前に集合しました。

受付、注意事項の伝達そして準備体操のあと、定刻にスタート。このコース特有のいきなりの急勾配を登りきると、市の景観5選にも選ばれている八ッ池公園に出ます。



加治丘陵コースの様子

入間のシンボルともいえる茶畑のひろがり、里芋の大きな葉が目立つ菜園、高倉寺の観音堂と大きなイチヨウ、手入れの



カワニナ発見！

休日の朝の静けさの中、同公園の水と緑を「観賞」した後、緑豊かな晩秋の加治丘陵に入りました。ときおり聞こえる鳥たちの囀りに耳を傾け、踏みしめる落ち葉や下草の感触を楽しみながら参加者は歩を進めます。途中、牛沢カタクリ自生地に隣接する「ほたるの里」では、ほたるの幼虫の餌となる巻き貝カワニナを幾つも発見。初めて目にする人も多く驚きの声が上がりました。

ゆきとどいた庭先に稔るみかん、元左官職人さんが造られたオブジェの数々など、入間の自然と文化の魅力を再発見する小さな旅となりました。なお、同日、霞川下流コースにも多くの参加があり、ゴールのまちや公園にて合流し、芋煮に舌鼓をうちました。

（新井格記）



ゴールのまちや公園

首都圏外郭 放水路の見学

首都圏外郭放水路（春日部市）は、中川・倉松川・大落古利根川の洪水の際、一部を地下に取り込み、トンネルを通して江戸川へ放流するため建設された世界最大級の地下放水路です。日本の最先端の土木技術を結集し、およそ13年の歳月をかけて2006年に水路が完成しました。

地下約22mの位置に作られた長さ177m、幅78m、高さ18mに及ぶ地下調圧水槽は、59本もの巨大な柱により天井を支えられており、その光景は地下神殿を思わせます。

この施設の完成により流域の浸水被害が激減しました。毎年3万

人以上の見学者が訪れており、地球温暖化防止部会では過去2回この施設の見学会を実施しました。大変好評で今年も開催する予定です。

（本多進記）



概要説明



地下調圧水槽

NPO法人加治丘陵山林管理グループ

理事長 大山 博

平成15年4月に法人を設立しました。入間市唯一の里山「加治丘陵」を環境整備して、後世の子孫に譲り渡すことが目的の有償ボランティアのチームです。大手企業からの助成金で、現在の動力機材や軽貨物自動車を完備しています。

加治丘陵は424ha、東京ドームの90倍の広さがあります。そのうち、入間市所有の山林について下草刈り、間伐、枯損木の伐採をしています。また、丸太階段、道標、山中の栈橋づくりや不法投棄の処理など、多岐にわたって活動しています。

平成26年度の実績は、延べ活動日数109日、延べ活動人員1,000名超、延べ活動時間4,000時間超、活動総面積10万m²となっています。現在、正会員181名、賛助会員32社を擁し、NPOとしては入間市内でも大きな組織となっています。

安全第一と会員同士の絆を大切に、原則として日曜と水曜日の朝8時半に集合して、昼までと午後3時までの2パターンで作業に取り組んでいます。お気軽に、当グループへの参加をお待ちしています（年会費2,000円）。



団体紹介コーナー

平成27年度の年間事業

- 5月 ●総会
- 6月 ●ゼロエミッションハウス見学会
 - 第4回いるま環境フェア
- 7月 ●路上喫煙防止キャンペーンに参加
 - 大森の池まつりに参加
- 9月 ●環境団体との交流会
 - ポイ捨てゼロ推進運動に参加
- 10月 ●ごみ減量・マイバッグ推進キャンペーンに参加
 - いるま万燈まつり会場のごみ拾いを実施
- 11月 ●首都圏外郭放水路とキックマン醤油見学会

- 11月 ●環境ウォーキング
 - 12月 ●生涯学習フェスティバルに参加
 - 3月 ●会報の発行
- ※7月～9月及び12月～2月にエコライフDAY活動を実施
- ※ごみひろい隊の活動は、毎月第2日曜日に豊岡コースと藤沢コースを交替で実施（詳しくは、ホームページの「ごみひろい隊」をご覧ください）

入間市環境まちづくり会議

検索

URL : <http://www.kankyo-iruma.net/>

会員数 397 (人・団体)



入間市環境まちづくり会議

事務局 入間市役所環境経済部環境課

TEL 04-2964-1111 (内線 3221、3226)

FAX 04-2965-0232 (代表)